1	佐原 進 氏	(64歳)	中間製品検査工	【新日鐵住金(株)君津製鐵所	TEL:0439-50-2054]	《名簿番号13》
○髪	○髪の毛以下の太さの極細ワイヤから 50 µ 以下の微細な介在物を指先で感知する卓越した技能により、線材製品の高品質維持に大きく貢献 団体推薦					団体推薦

入社以来 40 年に渡り線材製品の品質管理業務に従事し、特にスチールコード(タイヤ補強用鋼線)の品質管理・解析に関する技能(髪の毛以下の太さの鋼線に品質異常の原因となる異物が含まれているかどうかを、手作業の研磨と観察で判定する技能、等)に卓越している。氏の取組みの結果、氏の所属する企業は同分野において他社の追随を許さない高品質を確立している。現在は当該技能を後進へ伝承するべく、人材育成活動にも尽力している。

### 〇作業風景写真





2	藤原 政治 氏	(53歳)	旋盤工	【長野オリンパス(株)	本社	TEL:0266-41-4111]	《名簿番号20》
○高精度・高難易度の金属切削加工技能に卓越した、業界の第一人者				長野県推薦			

カメラ、内視鏡、顕微鏡及び医療機器の金物加工製造の業務に従事し、特に「レンズ枠組み立て機」の各部品に代表される平行度 2 μm、真円度 3 μm、真直度 3 μm 等といった高精度・高難易度の要求に対応できる卓越した切削加工技能を有している。また、事業場内従業員や工業高校生等を対象に機械加工全般の実技指導を務め、後進技能者の技能向上と育成に多大に貢献している。

## 〇作業風景写真



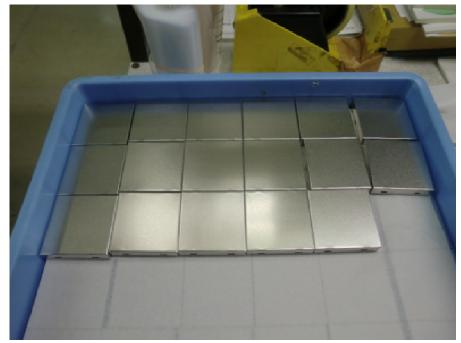


3	西谷 重夫 氏	(64歳)	電気めっき工 【(株) 薄衣電解工業 TEL:0197-66-6161】	《名簿番号41》	
Od	○めっき技能に卓越し、我が国の電気・電子部品の高度化に著しく貢献				

高度なはんだ付けが可能となるめっき技能や難めっき素材へのめっき技能に卓越し、近年の我が国の電気・電子部品の高度化に著しく貢献した。また数多くの同業他社のめっきトラブル対応や排水処理の不具合等に関し、永年にわたり献身的に相談に応じ提言を行うなど、ノウハウの伝承等後進技能者の育成に著しく貢献した。

## 〇作業風景写真





4	伊藤 勇 氏	(58歳)	タービン組立・調整工【(株) 日立製作所電力システム社 日立事業所 TEL:0294-21-1111】	《名簿番号42》		
○発電機用タービン加工・組立・据付技能の研鑽に努め、世界の産業発展に貢献						

タービンプラントの組立・据付業務に長年従事し、プラント機器をミクロン単位で加工・組立する技能を有している。国内・海外問わず多数の発電所建設、定期検査業務で培った豊富な経験と知識、卓越した技能をもって、組立技術に関わる数々の技術開発に携わり、タービンプラント組立技術の発展に大きく貢献してきた。

また、自らの保有する技能、知識をより多くの作業者に伝承できるよう創意工夫を凝らし、後進育成に多大な貢献をしている。

## 〇作業風景写真





5	鳥海 利江子 氏	(59歳)	美容師	【(有)鳥海利江子美容研究所	TEL:0463-21-6603]	《名簿番号 115》
	○国内外問わず活躍する、美容業界のパイオニア				神奈川県推薦	

世界美容技術選手権大会において国別団体総合優勝と種目別個人優勝を果たした。

新しいヘアスタイルの創作・新技術の開発や各地での普及活動に取り組むなど業界発展に貢献している。

日本を代表し、世界大会などの国際大会で審査員を務め優秀審査員に選ばれた。

# 〇作業風景写真





6	落合 務 氏	(66歳)	西洋料理調理人 【(有) ラ・ベットラ・ダ・オチアイ TEL:03-3567-5656】	《名簿番号 127》
	○国産食材を使用した新しいイタリア料理を創作、日本イタリア料理業界に大きく貢献		一般推薦	

イタリア本土で学んだイタリア料理技術を生かし、国産食材(ウニや生魚など日本人の嗜好に合った食材)を使い、これまでにない新しいイタリア料理を作る技能に卓越している。さらにその技能を料理学校で講師、若手調理師に指導したり、日本イタリア料理協会会長を務め、国内イタリア料理人への指導及び、イタリア料理発展のための勉強会開催の主導や、日本各地のホテル・飲食店においても調理師に指導するなど、後進技能者の育成・指導に貢献している。

## 〇作業風景写真





7	梅澤 敬育 氏	(69歳)	運道具製造工 【梅澤剣道具(株)	TEL:048-523-2417]	《名簿番号 143》
○伝統的な剣道具一式を一人で製作する、国内でも数人と言われる貴重な剣道具師				埼玉県推薦	

剣道具製作に長年従事し、伝統的な剣道具一式(面、甲手、胴、垂)を一人で製作できる優れた技能を有する。

特に、手刺し布団の仕込みでは、伝統的な方法、材料で仕込む技能を有する数少ない職人である。一方で、素材の選別や新たな素材の導入などで、 デザイン性に富む時代に合った剣道具づくりに取り組んでいる。

また、後進技能者の指導・育成に尽力し、日本の剣道具製作技術の保存・研究・承継に貢献している。

## 〇作業風景写真



